

地域共生社会の未来へ

スタンド グラス 豊岡

ひとりひとりが輝く未来へ。

3
FRI 13

『豊岡の外国人雇用事例集』
完成報告交流会

豊岡市役所 3F庁議室 14:00-16:30





「地域共生社会」とは、地域の誰もが参加し、
お互いにつながりあって課題を解決する社会のこと。
外国人も共に地域の未来を築くメンバーです。
スタンドグラスのように、それぞれの色と形が響き合い、
美しく調和のとれた「豊岡＝一枚絵」となるよう、
まずは彼らを「知る」ことからスタートです。

本事業の成果発表として、完成した24p事例集を配布、
ゲストスピーカーに京都大学の安里和晃先生をお迎えし、
豊岡市長、企業担当者、高校生、外国人が集い、
“これからの豊岡の共生”について語り合う場をつくります。

基調講演

「外国人雇用と地域共生社会」

～元気な豊岡市をめざす人口減少時代の地域づくり～



安里和晃さん

京都大学大学院文学研究科准教授
(国際連携文化越境専攻)

安里和晃 (あさと・わこう) ▶1971年沖縄県生まれ。93年琉球大学法文学部卒業。2006年龍谷大学大学院経済学研究科博士後期課程修了。京都大学大学院文学研究科准教授。フィリピン政府在外フィリピン人委員会、フィリピンのNGO、京都市内の小中学校などと連携したフィリピン系移民に対する支援を実施する。2014年、フィリピン大統領賞受賞。主な著書に『労働鎖国ニッポンの崩壊』(共著/ダイヤモンド社)『国際移動と親密圏』(共著/京都大学学術出版会)がある。

パネル ディスカッション

「地域定着のカギは何か？」

～ 職場・行政・地域ができること～

豊岡市の外国籍住民1,330人(2025年11月末現在)の約71%が20代・30代に集中しており、今後も増加すると見込まれます。彼らの地域定着が「元気な豊岡市をめざす人口減少時代の地域づくり」のカギと言ってもいいでしょう。行政・企業・外国人・学生それぞれの目線で、彼らを孤立させない仕組み、地域全体との関わりについて討論します。



スタンドグラス豊岡代表
河本美代子



豊岡市長
門間雄司さん



京都大学准教授
安里和晃さん



(株)川崎建設 取締役
佐々木一彦さん



奥城崎シーサイドホテル
ティムルセナ
・タブトララジュさん



近畿大学附属豊岡高校
2年生代表

地域共生社会の未来へ

スタンドグラス豊岡

公益財団法人
かめのり財団
Kamenori The Kamenori Foundation

公益財団法人かめのり財団「2025年度多文化共生ネットワーク支援事業」助成により生まれた取り組み。日本語教育のインフラ整備を目標に掲げ、外国人雇用の実態を広く市民に知ってもらうことを目的に2025年度の1年間、精力的に活動してきた。

後援 豊岡市・豊岡商工会議所
事業協力機関 豊岡市役所 多様性推進・ジェンダーギャップ対策課 豊岡商工会議所 一般社団法人豊岡市国際交流協会 近畿大学附属豊岡高等学校 神戸大学大学院人文学研究科 社会学研究室

お申込み
フォーム
はこちら→



HOME PAGE



活動記録、更新中▲